

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和5年4月12日

茨城県知事 殿



提出者

住 所 茨城県稲敷市上根本 4048

氏 名 茨城亜鉛工業株式会社

代表取締役 河崎 修治郎

電話番号 0297-87-2555

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	茨城亜鉛工業株式会社
事業場の所在地	茨城県 稲敷市 上根本 4048 番地
計画期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	溶融めっき業
②事業の規模	60,000 万円
③従業員	44 名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	100%処理業者へ委託

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制)

別紙のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸（有害）	
	排 出 量	396 t	t
	(これまでに実施した取組) 強酸(有害) ・成分及び濃度管理により、使用限界値まで使用している		
② 計画	【目 標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸（有害）	
	排 出 量	380 t	t
	(今後実施する予定の取組) 強酸(有害)：生産量に伴う排出量の為、現状管理を維持		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 強酸(有害)：使用工程毎に各槽にて分別保管
② 計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状管理を維持

(3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利を用行った 特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 該当しない		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利を用行った 特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当しない		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行なった 特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減少した 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当しない		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行なった 特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減少した 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当しない		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

① 現状	【前年度（ ー 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	ー	
	自ら埋立処分を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当しない		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	ー	
	自ら埋立処分を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当しない		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸(有害)	
	全 処 理 委 託 量	396 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	179 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特別管理産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を締結した		

② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸(有害)	
	全 処 理 委 託 量	380 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	180 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	現状の管理を維持		
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く)	396 t	
	(今後実施する予定の取組)		
	現状の管理を維持		
※事務処理欄			

産業廃棄物管理体制

1. 主な対象設備

廃棄物の種類	工程品名	設備No.
強アルカリ	脱脂液	
強酸(有害)	塩酸水溶液	
廃酸	冷却水	
汚泥	排水処理汚泥	
廃酸(有害)	表面処理液	

2. 管理体制

- (1) 廃棄物の管理は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づくものとする。
 (2) 管理体制及び各担当者の役割は、次の「図-1」「表-1」とする。

図-1

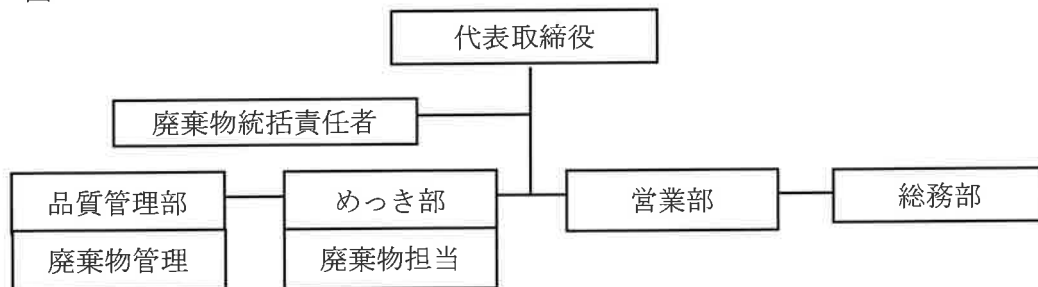


表-1

担当者	役 割
廃棄物統括責任者 (管理責任者)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物処理に関する諸事項の決定、承認 ・ 産業廃棄物処理計画書の作成 ・ 管理状況の把握と改善策の検討 ・ 委託契約の締結
廃棄物担当者 (工場長)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理状態の把握と改善策の検討 ・ 処理業者の選定及び管理 ・ 記録の管理 (管理票) ・ 従業員への教育、啓発 ・ その他、廃棄物に関する事項
廃棄物管理 (品質管理部)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物の状態、成分等の把握 ・ 異常値発生時の報告

3. 特別管理産業廃棄物管理責任者の責務

- (1) 特別管理産業廃棄物の排出状況を把握すること。
 (2) 特別管理産業廃棄物の処理計画を立案すること。
 (3) 適正な処置状況の確認をすること。
 ① 分別、保管状況の確認
 ② 委託業者の選定や適正な委託の実施
 ③ 管理票の交付、保管 (管理票の保管期間は5年)
 (4) その他については、法令に基づくものとする。
 ※ { 特定管理産業廃棄物：強酸(有害), 強アルカリ, 廃酸(有害) }